

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平7-214941

(43)公開日 平成7年(1995)8月15日

(51)IntCl.<sup>6</sup>

B 4 2 D 1/00

識別記号

庁内整理番号

F 1

技術表示箇所

E

審査請求 未請求 請求項の数 1 O L (全 6 頁)

(21)出願番号 特願平6-13867

(22)出願日 平成6年(1994)2月7日

(71)出願人 594021131

萩原 玉蔵

東京都世田谷区下馬 6-43-14

(72)発明者 萩原 玉蔵

東京都世田谷区下馬 6-43-14

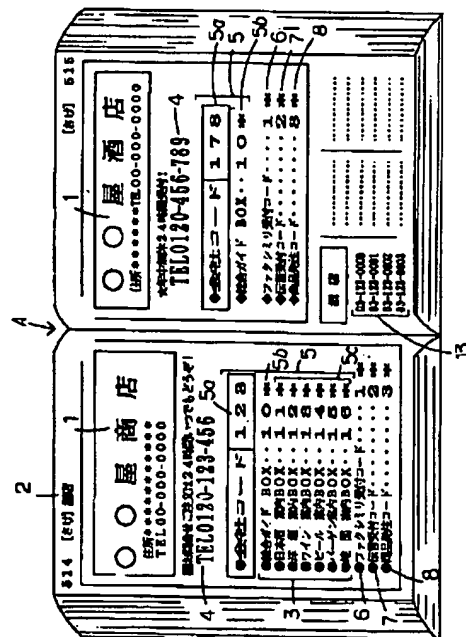
(74)代理人 弁理士 中井 宏行

(54)【発明の名称】 電話広告帳

(57)【要約】

【目的】 商品やサービス提供者の店舗や事務所などに  
出向かずに、自宅に居ながら商品、サービスについての  
必要な情報を電話機やファクシミリで簡単に入手し確認  
できるようにした電話広告帳を提供する。

【構成】 商品、サービスの提供者名 1 と、提供する商品、  
サービスの種類 2 と、提供可能な商品、サービスに  
ついてのガイド情報 3 とを少なくとも記した紙面に、ガ  
イド情報の取り出しを受け付けるサービスセンターの電  
話番号 4 を付記するとともに、上記商品、サービスの提  
供者 1 と、上記ガイド情報 3 には、電話機によって入力  
可能な選択コード 5 を付記した構成とした。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】商品、サービスの提供者名と、提供する商品、サービスの種類と、提供可能な商品、サービスについてのガイド情報とを少なくとも記した紙面に、ガイド情報の取り出しを受け付けるサービスセンターの電話番号を付記するとともに、上記商品、サービスの提供者と、上記ガイド情報には、電話機によって入力可能な選択コードを付記した構成とした電話広告帳。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、電話機などを用いて、簡単に商品やサービスのガイド情報を得ることの出来る音声応答システムと協働して使用される新規な構成の電話広告帳に関する。

## 【0002】

【従来の技術】従来の電話広告帳は、業種別毎に商品、サービスの広告が掲載されており、消費者はそれらの業種別広告を必要に応じて選択し、業者に電話を掛けて取り扱い商品やサービスの内容を問い合わせたり、店舗や事務所向向いて必要な商品やサービスについての情報を得ているのが現状である。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、上記従来の電話広告帳は、業種別毎に掲載された広告欄はスペースが限られているため、書籍内の広告ページ、チラシ、ポスターに比べてインパクトが弱く、また電話帳に掲載されている商品、サービス情報も最新のもののなか、すでに取り扱いを中止しているものか分からないなどの問題もあり、消費者にとっては、業者を捜し出すときに参考になる程度で、業者が提供する商品、サービスの内容を知ることまでは期待できなかった。

【0004】また、電話広告帳に掲載している商品、サービスの提供者である広告主は、小規模な商店や少人数の事務所や会社などが多い。このため、消費者がそれらの広告を見て、必要な商品や情報を電話で問い合わせても専属の担当者を置いている場合が少なく、消費者は何度も電話を掛けたり、説明が不十分な場合には違う業者に電話を掛けるなどして内容を確認する必要があった。

【0005】更に、一般の業者は、夜間の受け付けなどはほとんど行っていないために、深夜などに活動する者にとっては、問い合わせが殆ど出来ない状態でもあった。本発明は、上記従来の実情に鑑みてなされたものであって、消費者が商品やサービス提供者の店舗や事務所などに出向く前に、商品、サービスについての必要な情報を事前に電話機やファクシミリによって簡単に知ることができる電話広告帳を提供することを目的としている。

## 【0006】

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するために、本出願人は次の構成を有した電話広告帳を提案して

いる。すなわち、商品、サービスの提供者名と、提供する商品の種類、サービスの種類と、提供可能な商品、サービスについてのガイド情報とを少なくとも記した紙面に、ガイド情報の取り出しを受け付けるサービスセンターの電話番号を付記するとともに、上記商品、サービスの提供者と、上記ガイド情報には、電話機によって入力可能な選択コードを付記した構成となっている。

【0007】この場合、サービスセンターとしては、共通のサービスセンターを設けて、複数の広告主業者で協同利用する形態の他、広告主業者が専用のサービスセンターを設けて、そこで受け付ける形態が存在し、そのいずれを採用してもよい。

## 【0008】

【作用】本発明の電話広告帳を見た消費者は、商品やサービスについての必要な情報を入手する場合、電話機でサービスセンターを呼び出す。サービスセンターが着信すると、サービスセンターの音声対応型コンピュータは、消費者に対して音声で応答し、電話機のプッシュボタン入力によって情報の入手が可能であることを知らせた後、対話的に誘導して、商品、サービスの提供者の選択コード、消費者の得たいガイド情報、商品、サービスの種類を示す選択コードの他、消費者伝言ボックスなどの選択コードを電話機のテンキーを操作することによって入力可能なことを伝える。

【0009】サービスセンターが商品、サービス提供者の選択コード、商品、サービスの種類の選択コード、その他の必要な情報を消費者から入力し、受け付けると、入力された情報を確認し、音声で問い合わせを確認するので、その内容に誤りがなければ所定のキーを操作して受け付けを確定する。このように本発明の電話広告帳によれば、消費者は、商品、サービスの提供者の店舗や事務所に出かけることなく、プッシュボタン入力の可能な通常の電話機やファクシミリによって、サービスセンターを呼び出すだけで、必要な情報が自宅から電話機やファクシミリを通じて容易に入手し確認ができる。

## 【0010】

【実施例】以下に、本発明の実施例を図面に基づいて説明する。図1は、本発明の電話広告帳の一例を示している。電話広告帳Aには、商品、サービスの提供者名1、商品、サービスの種類2、提供可能な商品、サービスのガイド情報3及び情報の取り出しを受け付けるサービスセンターの電話番号4（図例ではフリーダイヤル番号となっている）が記されており、商品、サービスの提供者には会社コード5a、ガイド情報3にはBOXコード5b～5cが選択コード5として付記されている。

【0011】これらの選択コード5は、電話機でプッシュボタン入力の可能な数字や記号となっており、業者の提供可能な商品、サービスの種類が分かりやすく目立つように付記されているので、電話広告帳Aを一目見ただけで、消費者には商品、サービスの提供者1である広告

主によって提供出来るガイド情報3が判読できる。サービスセンターは、商品、サービスの提供者1である広告主が単独で運営する他、複数の広告主や、異業種の広告主が共同利用することによって運営することも可能であり、広告主が特定の業者やデータベース会社の運営するサービスセンターを利用するようにしてもよい。

【0012】ガイド情報3は、図1に示した例では、音声メッセージで広告主の会社、店舗の総合的な案内情報を提供する総合ガイドBOXの他、商品提供者が提供可能な商品毎に区分した案内BOXが設けられ、それぞれに対応した選択コード5b、5cを付加している。図1に示した酒店の広告実施例では、商品案内のためのガイド情報3としては日本酒案内BOX、洋酒案内BOX、ワイン案内BOX、ビール案内BOXが設けられ、宣伝のためのガイド情報3としては、バーゲン案内BOX、地図案内BOXが電話機のテンキーで入力可能な選択コード5cとともに記されている。

【0013】なお、ファクシミリ受付コード6は、ガイド情報3をファクシミリで受信する場合に、また伝言受付コード7は、電話広告帳Aを見た消費者が商品発注や、商品の詳細な説明を商品、サービスの提供者から求めるために再コールなどの要求を行う場合に入力されるコマンドコードとして使用される。また電話機などから入力すれば、留守番電話機のように消費者の声をサービスセンターが録音して広告主に知らせることが出来るので、夜間や営業休暇時に発注や伝言を残す場合に特に便利である。また、8は商品発注コードであり、後述するようにガイド情報3を知った消費者が商品の発注を行う場合に入力するコマンドコードである。なお、広告欄の外には、通常の電話帳のように、同業者の電話番号のリスト13が表示されている。

【0014】このような電話広告帳Aによれば、次のような使用が可能である。消費者が電話広告帳Aを見て、サービスセンター4を発呼すると、サービスセンター4は音声メッセージによって応答し、ガイド情報3の入手を希望する会社コード5aを選択すべきことを音声で指示する。この音声の指示に従って消費者が会社コード5aを入力すると、サービスセンター4は呼び出された商店名1で応答した後、いずれかのガイド情報3の選択コード5b、5cの入力を指示するので、この指示に応じて消費者は選択コード5を入力する。例えば、会社についての総合的な案内情報が欲しいときには、総合ガイドBOXの選択コード5b【10\*】を入力し、例えば日本酒についての情報が欲しい場合には、日本酒案内BOXに付記された選択コード5c【11\*】を入力する。すると、サービスセンター4では、予め録音した音声メッセージで応答して会社の特徴や、日本酒についての商品情報を消費者に伝えるが、消費者が音声メッセージで伝えた内容を更にファクシミリで受信することを希望する場合には、更にファクシミリ受付コード6【1

11\*】を入力する。

【0015】また、電話広告帳Aを見た消費者が、その会社に対して、商品の発注や更に詳細な問い合わせを行う必要が生じた場合には、サービスセンター4を呼出し、会社コード5aを指定した後に、伝言受付コード7【2\*】を入力すれば、留守番電話のようにして、要件を録音できる。サービスセンター4に設置されたコンピュータソフトを旨く設計しておけば、操作に慣れて来た消費者は、サービスセンター4を呼出した後に、音声メッセージを聞き取ることなく、ガイド情報3、ファクシミリ受付コード6、伝言受付コード7を次々と入力操作して、必要な情報を取り出すことも出来る。

【0016】図2は、電話広告帳Aの一例として、不動産業者の広告欄を示している。この不動産取引2の電話広告帳Aには、サービス提供者名1、業種名2、サービスセンターの電話番号4の他、会社コード5aが記されている。このガイド情報3としては、売物件の情報を記憶した売物件案内BOX、買物件の情報を記憶した買物件案内BOX、賃貸物件案内BOXが選択コード5d～5fとともに付記されており、ガイド情報3を音声メッセージによる回答に代えてファクシミリで受信し、記録紙に印字出力するためにファクシミリ受付コード6が、また留守番電話のように、消費者のメッセージを録音するために伝言受付コード7を設け、それぞれのコマンドコードを付記している。

【0017】本発明は、このような酒販売店や不動産取引だけではなく、通常の電話帳に掲載されている業種、例えば中古車販売、美容院、病院、旅行代理店などのすべての業種の広告を掲載した電話広告帳として使用されてもよいことはいふまでもない。図3は、ガイド情報3の一例として、ファクシミリによって受信され、記録紙に印字出力される日本酒案内BOXのガイド情報Bを示している。ガイド情報Bの最も単純なものは、商品名9を販売価格12とともにリストとして一覧表示したものであるが、通常のチラシやカタログをそのまま印字出力してもよく、また図3に示したように、提供可能な商品の品目9を販売価格12とともに記し、更に電話機のプッシュトーンによって受付可能なコードを付記して、テレマーケティング用の広告紙として出力してもよい。

【0018】後者のようなテレマーケティング用広告紙を構成する場合は、この広告紙には商品の提供者名1、取り扱い商品9、販売価格12及び商品の発注やサービスを受け付けるサービスセンターの電話番号4が記され、商品、サービスの提供者1には会社コード5a、取り扱い商品には商品コード11と分岐コード11aが付記されている。

【0019】また、図3のガイド情報Bには、商品名9に合わせて、商品の姿を表した姿図、写真10が示されているが、商品名、内容が周知の場合はガイド情報Bを文字だけで表示した構成としてもよい。図4は、図3に

示したテレマーケティング用広告紙に付記された識別コードを拡大して示したものである。

【0020】識別コードとしては、消費者が電話機のテンキーを操作する方法でサービスセンターのホストコンピュータに入力し、発注できるように、おおまかな商品グループに付記される商品コード11、商品の細分類を示す分岐コード11aの他、商品の提供者1に付記された会社コード5aを設けている。商品に対する細分が多いときには、更に必要数の分岐コード11aを付記して分類を階層構造にすればよい。

【0021】図5は、ガイド情報として、地図案内BOXを指定したときに出力される商品、サービス提供者1の会社、事務所の所在地を示す地図Cの一例を示したものである。ガイド情報として消費者に提供される地図Cは、図例に係わらず消費者に所在地が容易に分かるように種々な態様が採用される。例えば、電車バスなどを利用した場合の道順、最寄りの駅からの詳細な道順、高速道路、一般道路からの詳細な道順、更に店舗や事務所までの片道交通機関の使用金額の払い戻し券やクーポン券などを付記した、通常の電話広告帳では掲載できない工夫を凝らした地図が採用される。

【0022】

【発明の効果】本発明の電話広告帳によれば、音声応答システムと組み合わせて利用することによって、消費者は商品やサービス提供者の店舗や事務所などに出向く前に、商品、サービスについての必要な最新の情報が電話機やファクシミリを通じて確認できるため利便である。

【0023】また、商品やサービスを提供している広告主から見れば、消費者からの問い合わせのために専属の担当者を常時待機させる必要がない上に応対者の巧拙によって説明内容も変化しない。このため、人件費や販売経費の削減に著しく有益である。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施例で電話広告帳の広告欄（酒店広告）を示した図である。

【図2】本発明の他例で電話広告帳の広告欄（不動産広告）を示した図である。

【図3】消費者に提供されるガイド情報の一例を示した図である。

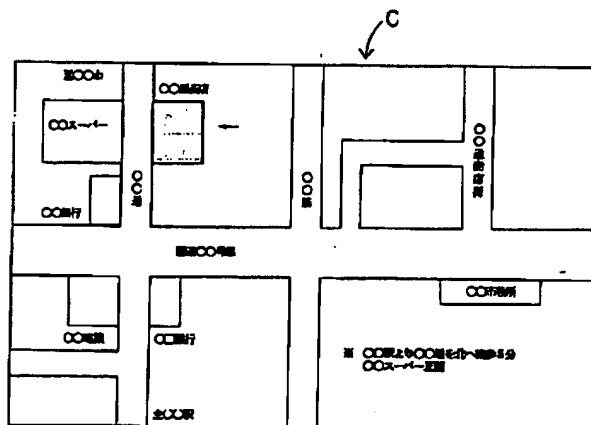
【図4】ガイド情報に記載された識別コードを拡大して示した図である。

10 【図5】ガイド情報として消費者に提供される地図情報の一例を示した図である。

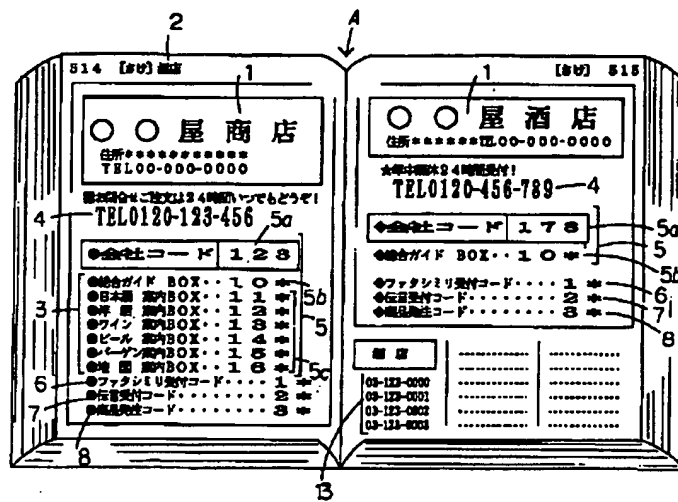
【符号の説明】

- A・・・・電話広告帳
- B・・・・日本酒案内ガイド情報
- C・・・・地図ガイド情報
- 1・・・・商品、サービスの提供者名
- 2・・・・商品、サービスの種類
- 3・・・・ガイド情報
- 4・・・・サービスセンターの電話番号
- 5・・・・選択コード
- 5a・・・・会社コード
- 5b・・・・総合ガイドBOX
- 5c・・・・取扱サービスコード
- 6・・・・ファクシミリ受付コード
- 7・・・・伝言受付コード
- 8・・・・商品発注コード
- 9・・・・商品名
- 10・・・・姿図、写真
- 11・・・・商品コード
- 11a・・・・分岐コード
- 12・・・・販売価格
- 13・・・・電話番号リスト

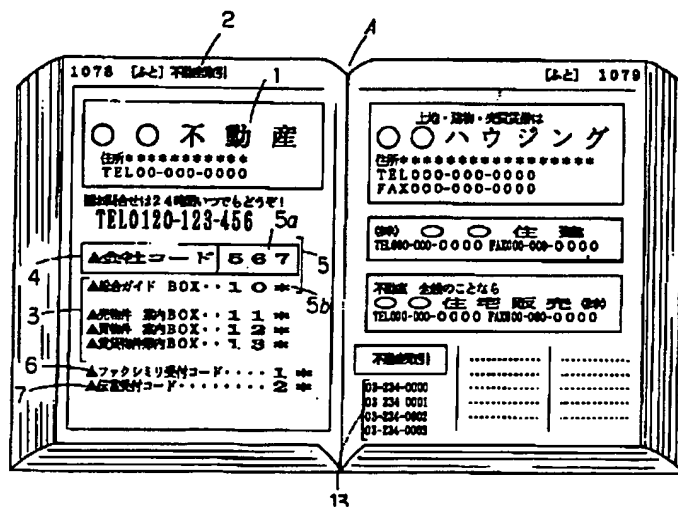
【図5】



【図1】



【図2】



【図3】



【図4】

商品コード 2103 11

1. 81.1%	2,500円	05
800!野,1%	800円	06

11a

会社コード 123 5a